

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度									
事務事業名	新生児特別定額給付金事業（政策）						事業類型	補助事業		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし	
			02	01	01	22				
総合計画体系								総合計画対象	対象外	
								市民協働	行政主体	
								担当課係等	健康づくり増進課 母子保健担当	
事業期間	期間限定複数年度（令和 2年度～令和 3年度）									

現状把握の部 (D0)

【目的】 新型コロナウイルス感染症による影響等がある中、子どもを出産し、育児に取り組む世帯に対して、経済的な負担の軽減を図る。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 臨時的な経済支援をすることで、子どもの健全な育成を資する。	【対象者】 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した乳児と同一世帯に属する保護者
【全体概要】 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、かつ、出生後最初の住民登録がかすみがうら市である乳児と同一世帯に属する保護者に、乳児1人につき10万円を給付し、経済的負担を軽減する。	【特記事項】 なし
【令和元年度 事業内容】 なし	【令和2年度 事業内容】 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、かつ、出生後最初の住民登録がかすみがうら市である乳児と同一世帯に属する保護者に、乳児1人につき10万円を給付する。
	【令和3年度 事業内容】 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、かつ、出生後最初の住民登録がかすみがうら市である乳児と同一世帯に属する保護者に、乳児1人につき10万円を給付する。

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	0	15,480	0
歳入計（千円）		0	15,480	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	0	34	0
	11 役務費	0	46	0
	18 負担金、補助及び交付金	0	15,400	0
歳出計（千円）（A）		0	15,480	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予
職員人工数		0.00	0.50	0.10
職員人件費（B）		0	3,891	779
総事業費（A）＋（B）		0	19,371	779

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	周知回数	回	目標	0.00	4.00	1.00
	市ホームページ及び広報誌等による周知の実施		実績	0.00	4.00	1.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	補助金交付件数		目標	0.00	200.00	20.00
	給付対象児と同一世帯に属する保護者への交付件数		実績	0.00	154.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新型コロナウイルス感染症による影響の中での出産及び育児に取り組む世帯に対しての臨時的経済的負担軽減は、政策的である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 将来を担う子ども達の健全な育成を資する為、税金を投入することは妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 給付対象者すべてが給付申請した為
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 臨時的事業の為
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 臨時的事業の為
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 臨時的な事業の為
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 給付対象を国の基準日であった4月27日以降の4月28日から年度内の出生を対象としたことや出生後最初の住民登録をかずみがうら市にした乳児と同一世帯の保護者にしたことは、公平かつ公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	給付対象者が令和3年4月1日なので、令和3年度までは、対象者からの期間内申請があれば給付する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：川原場 宗徳
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 令和2年度のみ事業としていることから、改善等については無し。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	後期高齢者保健事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	無し
			03	01	06	08	政策経費		
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 健康づくりの推進						市民協働	行政主体	
	2 医療保険制度						担当課係等	健康づくり増進課	
③後期高齢者医療制度の充実								成人保健担当	
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
後期高齢者医療制度被保険者を対象に健康診査（人間ドック）に係る受診費用の一部助成を行い、被保険者の健康増進を図るとともに介護予防につなげる。	後期高齢者健康診査	
【期待される効果】	【対象者】	
人間ドックの受診により、現在の健康状態を把握し、疾病の早期発見、早期予防を行い、健康寿命の延伸及び介護予防が図れる。	後期高齢者被保険者	
【全体概要】	【特記事項】	
後期高齢者を対象とした、各種人間ドックに対する受診料の一部助成を行い、被保険者の疾病の早期発見、早期予防を図る。29年度より心臓ドックを追加。	無し	
【令和元年度 事業内容】	【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】
納期到来分の保険料を完納している被保険者を対象に人間ドック受診費用の一部を補助する。 人間ドック 20,000円 脳、心臓 23,000円 脳併診 32,000円 心臓併診 32,000円	納期到来分の保険料を完納している被保険者を対象に人間ドック受診費用の一部を補助する。 人間ドック 20,000円 脳、心臓 23,000円 脳併診 32,000円 心臓併診 32,000円	納期到来分の保険料を完納している被保険者を対象に人間ドック受診費用の一部を補助する。 人間ドック 20,000円 脳、心臓 23,000円 脳併診 32,000円 心臓併診 32,000円

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	4,323	3,582	5,021
歳入計（千円）		4,323	3,582	5,021
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	4,323	3,582	5,021
歳出計（千円）（A）		4,323	3,582	5,021
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 40.17 予 7.72
職員人工数		0.60	0.65	0.70
職員人件費（B）		4,652	5,059	5,448
総事業費（A）＋（B）		8,975	8,641	10,469

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	人間ドック補助金交付制度についての周知	回	目標	2.00	2.00	2.00
	人間ドック補助金交付制度について、健康カレンダーや広報誌等で周知を図る。		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	人間ドック利用者数（受診者数）	人	目標	200.00	220.00	235.00
			実績	204.00	171.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画の施策に基づき事業実施している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 三大疾病である、がん・脳血管疾患・循環器疾患の早期発見やこれらの疾患の基礎疾患である生活習慣病の早期発見や早期治療を行うことにより、生命の維持及び健康増進を図り、ひいては医療費減額が期待されていることから、行政の関与は重要である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 後期高齢者医療広域連合からの交付金で事業を行っているため、交付金の増減により、事業内容の変更が必要となる。脳・心臓ドッグ、脳併診・心併診ドッグは3年に1度の助成で限られている。限られた方のみ受診しているため、受診者の偏りがある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 公費投入の廃止及び事業廃止によって、健康意識の低下による疾病の早期発見・早期治療の期待が薄れ、健康寿命延伸が望めないことや将来的な医療費の増額が想定される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 後期高齢者健康診査では、がん検診が含まれていないので、連携を図ることはできない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 本事業は国保特別会計の人間ドッグと同様に独自のエクセルで管理しており、資格確認・受付入力や結果入力など事務処理は同時におこなって。年間の処理総件数は900近くある。また年度当初の4～5月に申請が集中し、現所での人件費削減は困難。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 国保人間ドッグの受診率に比し低い。受診する者も限られており、3年に1度の脳ドッグ・併診ドッグは偏りがあり公平にはならない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入 被保険者の健康維持や健康寿命の延伸を考慮した場合、人間ドッグの信頼性は疾病の早期発見や早期治療、予防の観点から有効であるが、後期高齢者の増加に伴い、受診者も増加することから一般会計からの支出も増額することとなる。しかし、団塊の世代が後期高齢者になり、助成へのニーズは高まるため、今後は予約枠の確保等を図り、事業の継続を行う。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：川原場 宗徳 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 高齢者の疾病予防と早期発見を行っていくことは、介護予防の観点からも重要であることから、今後も事業の継続を図る。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者： <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	献血推進事業（政策）						事業類型	一般事務	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律
			04	01	01	03			
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 健康づくりの推進						市民協働	行政主体	
	1 保健・医療						担当課係等	健康づくり増進課	
⑧献血の推進						健康増進担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 安全な血液の安定供給に向けて、県はじめ各市町村及び献血団体、献血協力団体等と協力し、医療機関の需要にあった血液を安定的に確保する。	【関連事業】 無し
【期待される効果】 市民の献血協力者の増加	【対象者】 市民等
【全体概要】 事業所、街頭等で茨城県赤十字血液センターの採血バスによる献血を実施する。	【特記事項】 献血者実績が低迷していることから、啓発品として需用費を計上する。
【令和元年度 事業内容】 事業所、街頭で茨城県赤十字血液センターの採血、献血を実施 成人式典時等に献血協力啓発品を配布	【令和 2年度 事業内容】 事業所、街頭で茨城県赤十字血液センターの採血、献血を実施 成人式典時等に献血協力啓発品を配布 骨髓移植ドナー助成費交付
【令和 3年度 事業内容】 事業所、街頭で茨城県赤十字血液センターの採血、献血を実施 成人式典時等に献血協力啓発品を配布 骨髓移植ドナー助成費交付	

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	70	70
	一般財源・その他	200	270	270
歳入計（千円）		200	340	340
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	200	200	200
	18 負担金、補助及び交付金	0	140	140
歳出計（千円）（A）		200	340	340
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.15	0.15	0.15
職員人件費（B）		1,163	1,168	1,168
総事業費（A）＋（B）		1,363	1,508	1,508

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	実施日数	日	目標	15.00	15.00	15.00
	献血開催日数		実績	17.00	16.00	0.00
	実施実施協力所数	箇所	目標	30.00	30.00	30.00
	献血実施協力事業所数（箇所数）		実績	30.00	11.00	0.00
成果 指標	献血申込者数	人	目標	600.00	600.00	600.00
	献血申込者数		実績	544.00	453.00	0.00
	献血実施者数	人	目標	550.00	550.00	550.00
	献血実施協力者数		実績	473.00	411.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画の施策に基づき実施している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 献血は相互扶助の精神による無償の奉仕であり、この行為により多くの尊い生命が救われている。本市の献血者は減少傾向にあり、血液の安定供給のためにも公費を投入した献血者の確保は重要である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 献血車が大型バスであることから場所を選んで実施する傾向にあるが、広報紙やホームページを活用し周知をはかりたい。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 血液は人工的に造ることができず、また、長期間保存ができない。誰もが血液製剤を使用する可能性があり、安定的に血液製剤を供給するために多くの献血者が必要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似する事業が無く統廃合や連携はない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業費は献血協力者への粗品と献血協力者の確保のための啓発品である。また、人件費は業務内容の比重が低く、削減の余地は見受けられない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 相互扶助の精神による無償の奉仕事業であるため、一部の受益者に偏っていない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	献血について住民の理解を深めるとともに、採血事業者による献血の受け入れが円滑に実施されるよう、新たな献血協力事業所の募集や各種イベント開催日に合わせた献血の実施、PR活動が必要である。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者者：川原場 宗徳 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 献血協力者の増加を図るため、関係者との協力体制を作り、各種イベントでの実施を検討していく。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 記者者： 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度							
事務事業名	不妊治療費助成事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	無し
			04	01	02	04	政策経費	
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 健康づくりの推進						市民協働	行政主体
	1 保健・医療						担当課係等	健康づくり増進課
⑥妊娠・出産・育児への支援体制の強化								母子保健担当
事業期間	継続							

現状把握の部 (D0)

【目的】 体外受精、顕微授精による不妊治療を実施している市民に対し、経済的負担の軽減を図る。	【関連事業】 無し
【期待される効果】 不妊治療による治療費の負担を軽減することで、少子化の抑制が期待できる	【対象者】 夫婦のいずれかが1年以上市内に住所を有し、茨城県不妊治療補助金交付決定を受けた者
【全体概要】 体外受精及び顕微授精による不妊治療については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、特定不妊治療に要する費用の一部を補助することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。	【特記事項】 平成28年度より補助額の増額を実施。年齢による補助の回数を変更 平成29年度より男性の不妊治療及び不育治療に対しても補助を実施 令和3年度より限度額の増額を検討
【令和元年度 事業内容】 特定不妊治療を行い、県不妊治療費補助金交付決定を受けた当市に住所を有する夫婦に対し、1回10万円を限度に補助する。 年齢等により補助回数の制限あり。補助の実施は女性の不妊治療、男性の不妊治療、不育治療に対して行う。	【令和 2年度 事業内容】 特定不妊治療を行い、県不妊治療費補助金交付決定を受けた当市に住所を有する夫婦に対し、1回10万円を限度に補助する。 年齢等により補助回数の制限あり。補助の実施は女性の不妊治療、男性の不妊治療、不育治療に対して行う。
【令和 3年度 事業内容】 特定不妊治療を行い、県不妊治療費補助金交付決定を受けた当市に住所を有する夫婦に対し補助する。 補助の実施は女性の不妊治療、男性の不妊治療、不育治療に対して行う。	

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	3,042	4,000	4,000
歳入計（千円）		3,042	4,000	4,000
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	3,042	4,000	4,000
歳出計（千円）（A）		3,042	4,000	4,000
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.55	0.20	0.25
職員人件費（B）		4,264	1,557	1,946
総事業費（A）＋（B）		7,306	5,557	5,946

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	周知回数	回	目標	2.00	2.00	2.00
	市ホームページ及び広報誌等による周知の実施。		実績	2.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	補助金交付件数	件	目標	40.00	40.00	40.00
	不妊治療等に係る補助金交付件数		実績	32.00	43.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで、施政方針にある「健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり」を目指していると考える為
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 不妊に悩む夫婦に対し、経済的負担を軽減することは、少子化対策の一つになる為、市が行う事業として妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 毎年、助成件数が増加していることから、成果は上がっていると判断する。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 高額な方は、1回60万円以上の治療費がかかるので、助成が無くなると、治療継続が困難になるケースも考えられる為
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 統廃合できる事業がない為
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 今後、国の方針で医療保険内でできる治療になれば、事業を縮小することも考えられる。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 申請前後で市内に住所を有する者としているので、住民への投資という観点から公平かつ公正だと判断する。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	今後、国の方針で、不妊治療費が医療保険の摘要になれば、医療保険の適用外に助成をしていく方向性も考えられる。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：川原場 宗徳 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 子を望む親の不妊治療に伴う高額な医療費の経済的負担を軽減することで、少子化対策に結び付く事業として有効であるため、今後とも継続を図っていく。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者： <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	健康づくり推進事業（政策）						事業類型	相談・指導	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	健康増進法
			04	01	03	05	政策経費		
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 健康づくりの推進						市民協働	行政主体	
	1 保健・医療						担当課係等	健康づくり増進課	
①健康増進計画の推進						健康増進担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民の健康寿命を延伸するため、健康意識の高揚や健康づくり事業を推進する。	【関連事業】 無し
【期待される効果】 健康事業を推進し、健康意識の高揚を図ることにより、疾病治療にかかる医療費の削減が見込まれ、平均寿命及び健康寿命の延伸が見込まれる。	【対象者】 市民
【全体概要】 市民の健康寿命延伸を図るため、健康増進計画や食育推進計画等を推進する。 また、生活習慣病予防を図るため、生活習慣病改善モデル事業を始めとする、健康づくり事業を展開する。 さらに近隣の病院等や大学の協力を得て、専門的な講演会や健康体操を導入・普及する。	【特記事項】 無し
【令和元年度 事業内容】 健康増進計画に基づき各種事業及び講演会を開催する。生活習慣病対策として、簡単にできる体操（マットス）の指導者育成を行う。 市民を対象に、医師や栄養士による専門的な健康講座を開催する。	【令和 2年度 事業内容】 健康増進計画に基づき各種事業及び講演会を開催する。生活習慣病対策として、簡単にできる体操（マットス等）の指導者育成を行う。 市民を対象に、医師や栄養士による専門的な健康講座を開催する。
【令和 3年度 事業内容】 健康増進計画の基本施策に基づき、生活習慣病対策を中心とした具体的取組を実施する。高血圧・糖尿病・脂質異常症・飲酒や喫煙対策を目的とした健康相談、運動習慣の定着を目的とした集団健康教育を実施する。また市民全体への啓蒙啓発を行う。	

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国 庫 支 出 金	0	0	0
	県 支 出 金	0	710	708
	一 般 財 源 ・ そ の 他	7,992	4,059	5,708
歳 入 計 (千 円)		7,992	4,769	6,416
歳出内訳	節 (番 号 + 名 称)	金 額 (千 円)	金 額 (千 円)	金 額 (千 円)
	01 報酬	0	1,586	1,632
	03 職員手当等	0	226	347
	04 共済費	247	283	339
	07 報償費	205	40	265
	08 旅費	5	42	119
	10 需用費	2,822	1,516	1,705
	11 役務費	120	40	76
	12 委託料	2,252	1,009	1,825
	13 使用料及び賃借料	257	0	0
	17 備品購入費	459	0	0
	18 負担金、補助及び交付金	108	27	108
	30 賃金	1,517	0	0
歳 出 計 (千 円) (A)		7,992	4,769	6,416
(参 考)		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 34.53 予 -28.0
職 員 人 工 数		1.25	1.35	1.10
職 員 人 件 費 (B)		9,690	10,506	8,561
総 事 業 費 (A) + (B)		17,682	15,275	14,977

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	健康まつりの開催	回	目標	1.00	1.00	0.00
	市民の健康づくりの意識高揚を図るため健康まつりを開催する		実績	1.00	0.00	0.00
	健康体操指導士養成講習会の開催	回	目標	1.00	1.00	1.00
	健康体操の普及を図り、幅広い年代層が親しめる健康体操指導士を育成する講習会		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	健康まつり参加者数	人	目標	700.00	700.00	0.00
	健康まつりへの参加者数		実績	600.00	0.00	0.00
	健康体操指導士育成	人	目標	30.00	30.00	30.00
	健康体操指導士を育成した人数		実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画に沿った事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 健康増進法・食育基本法により行政が健康増進計画等に位置付け、計画的に推進していくことは妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民に対し生活習慣病のメカニズム、食事や運動の知識や動機付けを定期的に行うことを継続することが長期的にみて健康寿命の延伸につながる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 生活習慣病予防に必要な知識や動機付けの機会が少なくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似する事業が無く統廃合はできない。65歳以上の者については介護予防の観点から介護保険部局との連携が必要である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 当市は糖尿病及び高血圧の方が多く、重症化した疾患が医療費や介護給付費を多く占めることから、今後も様々な機会を通して正しい知識の普及をする必要があるため事業費・人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民全体に健康づくりや生活習慣病予防の普及を行うものであり、一部の受益者に偏っていない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入 コロナ禍の中で本事業を縮小または中止せざるを得なかった。今後は感染症対策を行いつつ、市民の健診データ等から健康課題をふまえ、健康相談・健康教室・啓蒙啓発という手段を通じて生活習慣病の予防のメカニズム、適切な運動や栄養の動機付けを繰り返し行う。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：川原場 宗徳 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 令和3年度については、感染症拡大防止を踏まえ、健康まつり等のイベントを中止とするが、健康増進計画により、市民の健康寿命の延伸を図るため、各種健康づくり事業を行い、市民ニーズを的確にとらえた事業の転機を図っていく。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者： <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度							
事務事業名	任意予防接種事業（政策）						事業類型	一般事務
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	予防接種法
			04	01	04	04	政策経費	
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 健康づくりの推進						市民協働	行政主体
	1 保健・医療						担当課係等	健康づくり増進課
⑤予防接種の推進								成人保健担当
事業期間	継続							

現状把握の部 (D0)

【目的】 感染の恐れのある病気の発生・まん延を防ぐ。	【関連事業】 法定予防接種事業
【期待される効果】 個人の感染予防・重症化予防、集団感染予防となることで、医療費の削減が見込まれる。	【対象者】 該当年齢にある市民等
【全体概要】 住民全体の免疫水準を維持するために、市が定める任意の予防接種について費用を助成するもので、予防接種の実施により一定の接種率を確保し感染症の蔓延を予防する。	【特記事項】 無し
【令和元年度 事業内容】 ロタ・おたふくかぜ・子どものインフルエンザワクチン等の接種により、感染症の発生と重症化の予防を図る。	【令和 2年度 事業内容】 ロタ・おたふくかぜ・子どものインフルエンザワクチン等の接種により、感染症の発生と重症化の予防を図る。
	【令和 3年度 事業内容】 おたふくかぜ・子どものインフルエンザワクチン等の接種により、感染症の発生と重症化の予防を図る。

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	10,889	9,504	9,976
歳入計（千円）		10,889	9,504	9,976
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 役務費	274	260	285
	12 委託料	10,451	9,121	9,519
	19 扶助費	164	123	172
歳出計（千円）（A）		10,889	9,504	9,976
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 4.96 予 -12.7
職員人工数		0.65	0.70	0.50
職員人件費（B）		5,039	5,448	3,891
総事業費（A）＋（B）		15,928	14,952	13,867

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	発送件数	4000件	目標	5,000.00	5,000.00	5,000.00
	子どものインフルエンザ予防接種予診票の発送		実績	4,764.00	4,555.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	接種者数	人	目標	4,345.00	3,945.00	3,625.00
	任意予防接種を受けた人数		実績	3,763.00	3,348.00	0.00
	インフルエンザ予防接種者数	人	目標	3,500.00	3,300.00	0.00
	子どものインフルエンザ予防接種を受けた人数		実績	3,092.00	2,937.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画の施策に基づき実施している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 感染の恐れのある病気の発生及びまん延防止する観点から行政の関与は必要である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 感染症の集団発生子防の観点からは、接種率の向上を目指すべきであるが、任意の接種であり、個人負担も必要なことから極端な成果を求める事業ではない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 感染症がまん延する恐れもあり、廃止や休止を行った場合の影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 統廃合や連携が出来る類似の事業はない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 接種費用以外の事務費はなく削減は困難。人件費は、接種者の登録や委託費の支払いなど事務処理が複雑であり削減は困難。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 乳幼児や高齢者を対象としているが、任意予防接種の実施により感染症のまん延を予防するための事業であり、一部に偏る事業とは言えない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	乳幼児や高齢者を対象に予防接種の助成を行っているが、弱者を守る観点から必要な事業である。また、国内外の状況により新たに予防接種が必要となることもあるため。国の動向を見ながら事業を継続していきたい。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 川原場 宗徳
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 市民の疾病予防や感染症予防に重要な施策であり、今後とも継続したい。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者:
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入)		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	ウエルネスプラザ管理運営事業（政策）						事業類型	施設等整備	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	地方自治法
			04	01	05	03	政策経費		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体	
	2 公共施設						担当課係等	健康づくり増進課	
①公共施設の最適化						健康増進担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 ウエルネスプラザの適正な管理運営を実施し、市民の健康づくりの推進及び市民交流の促進を図る	【関連事業】 無し
【期待される効果】 施設・機能の一部が集約され、市民の利便性が向上する。	【対象者】 市民
【全体概要】 ウエルネスプラザの管理運営	【特記事項】
【令和元年度 事業内容】 転用工事、屋内運動場耐震改修工事 維持管理、運営体制の調整 指定管理者制度等の導入調整 関連施設の転用廃止等の調整 共用備品、事務備品等の調達	【令和 2年度 事業内容】 ウエルネスプラザ管理運営事業として、 健康づくり増進課に引継ぎ 【繰越明許】 ・外構工事の推進 ・管理運営備品の調達
【令和 3年度 事業内容】 ウエルネスプラザの管理運営	

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	0	50,283	57,298
歳入計（千円）		0	50,283	57,298
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	0	49,181	55,946
	13 使用料及び賃借料	0	1,102	1,352
歳出計（千円）（A）		0	50,283	57,298
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 13.95 予 -6.17
職員人工数		0	1.00	1.00
職員人件費（B）		0	7,782	7,782
総事業費（A）＋（B）		0	58,065	65,080

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	周知回数	回	目標	1.00	2.00	2.00
	市ホームページ及び広報誌等による周知の実施		実績	1.00	2.00	0.00
	モニタリング調査	日	目標	1.00	12.00	12.00
	施設利用状況についてモニタリング調査の実施		実績	1.00	14.00	0.00
成果 指標	トレーニングルーム利用者数	人	目標	0.00	10,000.00	12,000.00
	トレーニングルームの年間利用者数		実績	0.00	10,726.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の健康づくりや福祉の増進及び市民交流の促進と地域の活性化に寄与するための拠点施設の整備に必要である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 昨年度開館した施設であり、施設利用に関する定期的なモニタリングにより市民のニーズを把握し、より利用しやすい施設整備に努める。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の健康福祉の増進や市民交流の活性化が妨げられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 健康福祉の拠点施設であり、類似事業の統廃合ができない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 指定管理者が行う管理業務の対価のためコストの削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民全体の健康や福祉の増進や市民交流のための施設であり、一部の受益者に偏っていない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	市民の健康づくりや福祉の増進及び市民交流の促進と地域の活性化に寄与するための拠点施設の整備を適切にすすめていく。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者者：川原場 宗徳 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 複合型健康福祉施設となるウェルネスプラザを活用し、疾病予防・生活環境の改善を市民へ進めていく。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 記者者： 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	疾病予防事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	02	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	無し
			06	02	02	02	政策経費		
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 健康づくりの推進						市民協働	行政主体	
	2 医療保険制度						担当課係等	健康づくり増進課	
②医療費の適正化と保険財政の健全化								成人保健担当	
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 被保険者の健康を維持するために、身体全体を健（検）診できる機会を安価で提供し、疾病の早期発見、早期予防に努める。	【関連事業】 特定健康診査及び特定保健指導事業	
【期待される効果】 人間ドックの受診により、現在の健康状態を把握し疾病の早期発見、早期予防を行い、健康寿命の延伸につながる。	【対象者】 納期到来分の保険税完納している30歳以上の被保険者	
【全体概要】 納期到来分の保険税完納している30歳以上の被保険者を対象に、人間ドック等受診に補助金を交付し、負担軽減を図る。	【特記事項】 対象者を40歳以上ではなく、30歳以上とするのは疾病の早期発見、早期予防という観点から身体変化の現れる頃の年齢であるため。	
【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】	【令和3年度 事業内容】
国民健康保険被保険者を対象に人間ドック受診費用の一部を補助する。 人間ドック 20,000円 脳、心臓 23,000円 脳併診 32,000円 心臓併診 32,000円	国民健康保険被保険者を対象に人間ドック受診費用の一部を補助する。 人間ドック 20,000円 脳、心臓 23,000円 脳併診 32,000円 心臓併診 32,000円	国民健康保険被保険者を対象に人間ドック受診費用の一部を補助する。 人間ドック 20,000円 脳、心臓 23,000円 脳併診 32,000円 心臓併診 32,000円

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	4,140
	一般財源・その他	14,533	12,279	11,880
歳入計（千円）		14,533	12,279	16,020
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	14,533	12,279	16,020
歳出計（千円）（A）		14,533	12,279	16,020
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 30.46 予 6.80
職員人工数		1.00	0.90	1.00
職員人件費（B）		7,752	7,004	7,782
総事業費（A）＋（B）		22,285	19,283	23,802

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	人間ドック補助金交付制度についての周知	回	目標	2.00	2.00	2.00
	人間ドック補助金交付制度について、健康カレンダーや広報紙等で周知		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	人間ドック利用者数（受診者数）	人	目標	705.00	705.00	750.00
	人間ドック、脳ドック、併診ドック利用補助金利用者数		実績	698.00	594.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画の施策に基づき事業が実施している
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 健康状態の把握や生活習慣病の早期発見に加え、健康診断だけでは見つからない「がん」をはじめ様々な全身の疾患の早期発見や早期治療に結びつき、重症化前の医療費減額が期待される行政の関与は重要である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 毎年受診者数は増加しているため、成果向上している。脳・心臓ドック、脳併診・心併診ドックは3年に1度の助成で、限られた方のみ受診しているため、受診者の偏りがある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 公費投入の減額及び事業廃止によって、受診者の自己負担が増額されることにより、受診者数は減少する。健康意識の低下による疾病の早期発・見早期治療が期待できず、健康寿命の延伸が望めないことや将来的な医療費の増額が想定される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 集団で行う成人健診または又は医療機関で行う特定健康診査では、がん検診等が含まれていないので連携を図ることはできない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業独自のエクセルで管理しており、資格確認・受付・結果入力等の事務処理は同時に行っており、年間の件数が900件近くになる。事務処理に時間を費やすため、人件費削減は困難。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 脳・心臓ドック、脳併診・心併診ドックは3年に1度の助成で、受診対象者が限られており、公平にはならない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	被保険者の健康維持や健康寿命の延伸を考慮した場合、人間ドックの信頼性は疾病の早期発見・早期治療、予防の観点から有効である。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：川原場 宗徳 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 疾病の早期発見と早期治療は健康寿命の延伸と国保医療費の削減にもつながることから、今後も実施を継続したい。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者： <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）		